報道関係各位

2026年10月29日
株式会社TENGAヘルスケア

【イベントレポート】

「TENGAヘルスケアの性のお悩みオンライン相談」を開設

平成ノブシコブシ 吉村崇さん・キンタロー。さんが登壇！

“人には聞けない性の悩み”を本音で語る

吉村さん「まだまだ全然余裕！」と強がる男性心理を明かす

性の悩みや不安のない社会を目指す株式会社TENGAヘルスケア（本社：東京都中央区、代表取締役：松本光一）は、2026年10月29日（木）、主に男性の性の悩みに対応する新サービス「TENGAヘルスケアの性のお悩みオンライン相談」開設を発表しました。
これに伴い開催した発表会では、平成ノブシコブシの吉村崇さん、キンタロー。さん、福元メンズヘルスクリニック院長の福元和彦先生をゲストに迎え、トークセッションを実施。性の悩みを誰かに相談することの難しさや、安心して話せる場所の必要性について、それぞれの立場から意見を交わしました。



代表取締役挨拶及び新サービスのご説明




■TENGAグループが目指す「性の悩みや不安のない社会」

株式会社TENGAおよび株式会社TENGAヘルスケア代表取締役の松本光一より、TENGAヘルスケア10年の歩みと新サービス「TENGAヘルスケアの性のお悩みオンライン相談」を開設した背景についてプレゼンテーションが行われました。
2005年にスタートしたTENGAは今年で21年、2016年にスタートしたTENGAヘルスケアは10年を迎えました。松本は、性は命をつなぐ、誰にとっても大切なものであると語り、性を豊かにすることで人々の幸せに貢献するという、TENGAグループの理念を改めて示しました。
また、2016年の設立以来、性の課題解決に取り組むTENGAヘルスケアが実施した男性4,000名を対象とした調査では約9割が「性の悩みの相談先が思い浮かばない」と回答。この現状を受け、誰もが安心して相談できる環境づくりを目指し、本サービスを開設しました。松本は「私たちは皆さんが性の悩みを持った時に、真っ先に思い浮かぶよりどころでありたいと願っています」と述べました。
最後に、「世の中には愛と性があり、そして新しい命が生まれる。愛と性と命はつながっています」と語り、性が誰にとっても大切なものであることを強調。これまで性を豊かにすることに取り組んできた歩みを振り返りながら、「これからもTENGAグループは人の性を豊かにして、人を幸せにすることに全力で取り組んでまいります」と語り、今後も事業を通じて人々の性と幸福に貢献していく決意を示しました。

■性の悩みを安心して相談できる、新サービスの特徴と今後の展望

続いて、株式会社TENGAヘルスケア取締役の牛場健太より、新サービス「TENGAヘルスケアの性のお悩みオンライン相談」の詳細と、今後の展望が語られました。
牛場は、本サービスにおいては、ただ答えや情報をお伝えするだけではなく、専門家と一対一で向き合う「人との対話」を重視していると説明しました。相談員には医療従事者や経験豊富なカウンセラーが在籍しており、心理的なハードルを下げるために相談員と相談者双方の「顔出し不要・匿名」の形式を採用しています。
さらに、事前のアンケートをもとに一人ひとりの希望に合わせて対話のスタイルを調整する工夫も紹介。特定の治療へ誘導することはせず、性機能からパートナーとの関係まで幅広い悩みに中立な立場で寄り添い、状況の整理から「次の一歩」を見つけるまでをサポートすると語りました。
今後の展望については、「性の悩みを適切にケアできる社会」へ認識をアップデートしていくと宣言。「女性向け相談サービスの展開」「性教育などの情報発信強化」「医療機関との連携推進」という3つの柱を提示し、誰もが自分らしく性と向き合える社会の実現に向けた意気込みでプレゼンテーションを締めくくりました。

トークセッション「性の悩みを安心して話せる社会へ」

平成ノブシコブシの吉村崇さん、キンタロー。さん、福元メンズヘルスクリニック院長の福元和彦先生がゲストとして登壇。さらに、「TENGAヘルスケアの性のお悩みオンライン相談」で日々相談を受けているプロの相談員（赤木・吉川）を迎え、トークショーを行いました。



今回の新サービスについて、福元先生は「性についての悩みは増えている。悩んでいるけれどどこに相談したらいいのかわからない人も多い。今回のサービスができることによって救われる方々が増えていく。とても良い試み」と大絶賛しました。芸人仲間と楽屋で性に関する悩みなどを語り合うことがあるという吉村さんは「とはいえ何も解決しないままここまで来ている。今までは調子が悪かったときにいきなり病院しかなかった。病院に行くべきかどうかもわからないときの相談場所が丸々抜けていたので、今回のサービスがその部分を埋め、道筋をつけてくれるということで大変頼りになる」 と期待を込めました。キンタロー。さんも「性の話は恥ずかしくて聞きづらい分野。AIではないしっかりとした相談員の方が対応してくれるのは心強い。誰かにバレることなく、他人には聞きづらいものをこっそりと相談できるサービスはありがたい」と高く評価しました。





また、現在46歳の吉村さんは、男性は性に関してプライドが邪魔をして赤裸々に相談することができないと分析しながら、「たとえ悩みがあったとしても、同世代には弱みを見せたくないと思って『まだまだ全然余裕！』などと強がっちゃう。結局自慢大会になって、悩みは解決しない。それで自分で素人調べをしてテンパってよくわからなくなる」と男性ならではの悩みを代弁しました。一方、キンタロー。さんは、アップデートが進む現代において、仲間内で本音を打ち明けることすら難しくなったと嘆きました。「性の話はお酒を飲んでリラックスした状態じゃないと話題にしにくいものなのに、今は先輩芸人が後輩に『飲みに行こう！』と言いにくい時代。悩みを聞いてもらう場も減って来て、悩みを抱えている人が孤立しやすくなっている」と、令和ならではの時代背景を交えながら分析しました。

一方、膣内射精障害に苦しんできた自身の経験をもとに相談に乗っているという相談員の赤木は、相談に乗る際の心構えについて「相談者のお悩みに対して、寄り添って真摯に受け止め、二人三脚で歩みを進めていく。そういったことを大切にしている」と回答しました。また、互いの顔が見えないことのメリットについては「性の悩みは非常にデリケートで面と向かって相談しにくいもの。生身の人間が対応する一方で、顔が見えないことで相談のハードルが大きく下がる」と、その利点を説明しました。元助産師の吉川は、パートナーとの関係性やセックスレスを中心に相談に乗っているそうで、「安心できる雰囲気を作って、自由に悩みを打ち明けていただく。受容することを大切にしているので、そこが伝われば相談者ご自身の言葉で悩みを打ち明けてくださる。悩みを整理して相談者に合った具体的な道標を示します」などと、アドバイスする際の心構えを明かしました。

吉村さんとキンタロー。さんは、今回の新サービスに興味津々の様子。「年代によって相談内容や悩みの質も変わるのか？」「パートナーとの関係や不一致に悩んでる男性からの相談を受けた際はどのように悩みを解きほぐしていくのか？」などと、赤木と吉川に矢継ぎ早に質問しました。相談員の経験に裏打ちされた丁寧な対応や実例を聞いた吉村さんは、「病院に行くほどでもないけれど…という手前で聞いて欲しい悩みは結構ある。シリアスではなくカジュアルに聞きたい。今回のサービスは選択肢の一つとして自分でもチョイスしてみたいと思った」と、すっかり気に入った様子でした。キンタロー。さんも「相談員からのアドバイスを受けた上で『そうだよな、改めてパートナーに聞いてみよう』という良い流れも生まれる気がする」と、パートナーと向き合うきっかけにもなると実感を込めて語りました。



最後に福元先生は「TENGAには、性を誰もが楽しめるものに変えていくというコンセプトがある。性で悩んでる人もちゃんと楽しめるものに変えていく。今回の相談が世の中に普及し、性で悩む人が1人でも減っていけば日本もより良い社会になるはずです」と確信を示しました。吉村さんは「性は自力で解決するものだと思っていたけれど、親にも友達にもできなかった相談がカジュアルにできるというのは本当に良い事。ここから加齢で枯れていく人生ながらも、その下り坂を緩やかにできる可能性もわかったので、これからが楽しみな人生になりました」と笑顔を見せました。キンタロー。さんは、お笑い芸人魂にも火が付いた様子で、「皆さんも気軽に相談トゥームレイダーしてくださいね！」などと持ちネタを交えてアピールしました。

男性としての視点から悩みを語る吉村さん、女性や母親の視点から周囲の男性の様子について語るキンタロー。さん、医療現場で多くの患者と向き合う福元先生ら3名によるトークを通じて、性の悩みを一人で抱え込まず、安心して相談できる環境の大切さについて考える機会となりました。



画像のDLはこちら：https://drive.google.com/drive/folders/1I2v2HTsgAy-fw6vJcIC6cYSqic7ZTsxP?usp=sharing

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社TENGA 松下 TEL：03-6228-2590（代表）E-mail：mio.matsushita@tenga.co.jp

株式会社TENGA 広報事務局（共同PR内）：木之内 宇佐見 TEL：070-4303-7391（木之内）/ 080-2047-2434（宇佐見）

E-mail：tenga-pr@kyodo-pr.co.jp